

令和8年度版 総合計画の進行管理及び課題管理シート（令和7年度の振り返りと令和9年度の取組検討）

施策No	222	
施策名	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備 （後期基本計画：スポーツ参画人口の拡大とスポーツによる地域活性化）	施策の目的 ● スポーツ・レクリエーションに親しみ、健康づくりに取り組む人の増加を図ります。 ● 生涯スポーツ及び競技スポーツの取組を推進します。 ● スポーツに親しむことができる環境を整備します。
施策主管部長	産業文化スポーツ部長	施策幹事課長
スポーツ推進課長		関係課
		政策調整課、障がい福祉課、いきいき高齢課、健康増進課、都市整備課、教育総務課、学校管理課、学校教育課、生涯学習課

1. 進行管理

（1）指標の実績・考察

①中期基本計画の指標 目標年度(令和7年度)の目標値達成状況

	指標	単位	実績基準値	実績値					最終年度（R7）の 目標値達成状況	左欄の「目標値達成状況」の総括
			R2	R4	R5	R6	R7	R7		
a	週に1回以上スポーツ・レクリエーションに親しんでいる市民の割合	%	40.9	39.2	41.4	40.2	41.9	50.0	③目標値を下回った	スポーツ教室の各種目では、新たに取り組み始める方がいるため、実績値に直結しなくても、教室を継続していく必要がある。
b	健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	70.7	73.5	75.2	72.6	71.3	76.5	③目標値を下回った	スポーツやレクリエーションは健康づくりの一つの要素に過ぎないが、スポーツ教室の開催は目標値の向上に向けた有効な手段となる。
c	市スポーツ指導者登録制度への登録者（累計）	人	－	97	111	135	106	60	①目標値を上回った	実績基準値がない中で目標値を設定したこともあり、目標値を大きく上回った。
d	安全に使用できる市有スポーツ施設の提供数	施設	32	41	41	41	41	42	③目標値を下回った	中運動公園のプールを閉鎖しているため、目標値を下回った。

②後期基本計画 施策の対象・目的及び指標の設定 ※令和7年度版 総合計画の進行管理及び課題管理シート「3. 後期基本計画策定のための施策の必要事項管理シート」から転記

対象		対象指標			単位	R4	R5	R6	R7	R8(見込)	R9(見込)	R10(見込)	R11(見込)	
①	市民	佐野市人口（社人研推計）			人	115,700	114,695	113,498	112,515	111,388	110,515	109,641	108,768	
②	スポーツ施設	市有スポーツ施設			施設	42	42	42	42	42	42	42	42	
③	市外の人	関東地方（1都6県）の人口			千人	43,535	43,527	43,567	43,500	43,420	43,340	43,260	43,177	
④														
目的		成果指標			単位	区分	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
・市民がスポーツやレクリエーションに親しむ機会を創出します。 ・スポーツ施設を安全で快適に利用できるようにします。 ・スポーツで地域を元気にします。	①	週に1回以上スポーツ・レクリエーションに親しんでいる市民の割合	%	目標値	43.0	46.0	48.0	50.0	43.3	45.5	47.8	50.0		
				実績値	39.2	41.4	40.2	41.9						
	②	生涯学習、スポーツに関する環境や施設に満足している市民の割合	%	目標値				32.0	34.0	36.0	38.0	40.0		
				実績値	35.0	32.0	30.4	31.5						
	③	宿泊者のあるスポーツ大会又は合宿の数	件	目標値	10	20	30	40	35	35	35	35		
				実績値	28	28	31	31						
	④			目標値										
				実績値										

（2）基本方針の取組状況

①特に実績をあげている取組（計画初年度(令和4年度)以降の取組状況）

・ジュニア世代への競技力向上を図るため、スポーツ指導者を中学校の運動部等へ派遣する制度を構築します。（専門的な知識を持つトレーナーを中学校・義務教育学校へ派遣し、基礎トレーニングの教室を実施した。）

②計画通り進捗していない取組 ※理由及び今後の対応も含めて記載

・競技力向上や健康づくり等を総合的に支援する機能を持つ「スポーツ医科学センター」の設置について、検討を行います。（スポーツ医科学センターについては、社会情勢の変化等を勘案した結果、令和6年度予算での執行を見送り、令和7年度に所要額を計上し、国の地方創生交付金を活用したうえで、民間事業者等と連携し、令和7年度より実証事業として実施する。）

（3）令和7年度行政経営方針の取組状況

①令和7年度行政経営方針

・部活動の地域への全面移行に向けて、各種スポーツ団体等との協議を進め、運営を担う新たな団体の設立を検討する。
・部活動地域移行推進計画に基づいた部活動の地域移行を進めるため、指導者の派遣登録システムを構築して確実に確保するとともに、指導力の向上を図る。
・各種大会・イベント等において、参加者・関係団体にアンケート調査を実施し、内容の充実を図る。
・スポーツ医科学センターの知見を活用し、市民の運動習慣の改善をサポートし、健康維持・増進を図る。
・スポーツ振興くじ助成金を活用した施設の改修を進めるとともに、佐野市運動公園外公園施設長寿命化計画に基づき施設の改修を行う。

②令和7年度行政経営方針の取組状況

・部活動の地域への全面移行に向けて、各種スポーツ団体等との協議を進め、運営を担う新たな団体の設立を検討したが設立には至らなかった。
・指導者の派遣登録システムの構築に向け、他自治体の事例を研究したが構築には至らなかった。
・さのマラソン大会、市民スポーツ大会、ウォークラリー大会、レクリエーションフェスティバルなどにおいて実施したアンケートを集計し、事業の改善に向けた検討を行った。
・スポーツ医科学センターについては、事業の目的を端的に表す「運動習慣応援プロジェクト」に事業名称を改め、運動習慣の定着による市民の健康増進を目指し、民間事業者との連携による実証事業を実施した。なお、事業の目的に従い、後期基本計画においては、「心と体の健康づくりの推進【311】」の施策において、本事業を位置付け、運動習慣の定着による健康維持・増進を図る事業として実証事業を継続することになった。
・スポーツ振興くじ助成金を活用して、花・花薬局さの体育館の床全面の改修を実施した。

（4）環境変化や関係者の意見、要望等

・スポーツ協会では、一部の専門部を除き、各専門部の競技者が減少している。このような中でも各専門部からは、スポーツ教室の開催は、市民が新たに競技を始めるきっかけになっているとの意見を寄せられている。
・マラソン大会の開催を止める自治体が増え、全国的に大会数が減少傾向にあるため、大会の価値が高まりつつある。
・部活動の地域展開について、関係者や保護者から他の学校の生徒や地域の大人と接することで、社会性が培われていくと期待しているとの意見があった。
・スポーツ推進委員の人数が減少しており、スポーツ推進委員協議会からも委員の増員を求められている。
・佐野市運動公園のプールや遊具などの更新について、議会から要望があった。またエイジック佐野野球場（安全性、狭陰、バックスクリーン、電光掲示板など）、花・花薬局さの体育館（雨漏り、エアコン）、DAIKYOアリーナ佐野（エアコン）など、競技団体から改修の要望があった。
・令和9年度以降の指定管理者を選定する要項作成のため、事業者へのヒアリングを行ったところ、指定管理料の増額が見込まれている。また各施設の使用料は、供用開始以来、見直しを行っていない。

2. 課題と次年度（令和9年度）の取組

（1）課題

①日頃から健康づくり、体力づくりや趣味などのために、スポーツ（ウォーキング、軽い運動などを含む）を行う市民の割合は横ばい
②部活動地域展開の本格実施に向けた運営体制の整備
③スポーツ推進委員の確保
④佐野市運動公園のプール、エイジック佐野野球場、花・花薬局さの体育館の更新または大規模改修の方向性が未確定
⑤スポーツ施設の維持管理費用の確保

（施策221より）
⑥国際クリケット場への市民の来場、および市民の「クリケットのまち佐野」に対する理解
⑦国際クリケット場の整備の方向性が未定
⑧プロスポーツチームとの連携強化および各事業への展開

（2）課題に対する今年度(令和8年度)内の取組状況、予定

①スポーツ教室をスポーツ協会専門部に加え、総合型地域スポーツクラブの協力を得て、教室を開催する。また令和9年度の教室（競技種目）の検討を行う。さらに各種イベントの内容や開催時期などを、市民がより参加しやすいものとなるよう見直しを行う。
②地域クラブ活動の運営体制の方針を確定し、計画的に進める。
③スポーツ推進委員の公募を行い、委員の拡充を図る。
④佐野市運動公園のプール、エイジック佐野野球場、花・花薬局さの体育館について、サウンディング調査を実施する。
⑤スポーツ施設の使用料について、令和9年度からの改定に向けた事務を進める。
⑥クリケットの大会に併せたイベントの開催を継続するとともに、「クリケットのまち佐野」を発信するマンホールカードを作成し、国際クリケット場で配布する。
⑦国際クリケット場の整備について、民間事業者へのサウンディングを実施するための検討を行う。
⑧プロスポーツチームと連携した事業を実施するとともに、連携して実施する新たな事業の検討を行う。

（3）次年度(令和9年度)の取組(案)

①市民がスポーツを始める機会を創出するため、スポーツ協会専門部および総合型地域スポーツクラブ等と連携し、スポーツ教室の種目拡充を検討するとともに教室を開催する。
②地域クラブ活動の円滑化を図るため、運営体制のサポートを行う。
③スポーツ推進委員の確保に向け、関係団体への協力依頼や広報等で公募を行う。
④佐野市運動公園のプール、エイジック佐野野球場、花・花薬局さの体育館の整備の方向性を定めるため、民間事業者との対話を通して、令和8年度のサウンディング調査の結果をより具体化させる。
⑤－
⑥「クリケットのまち佐野」および多様性に関する理解、また異文化交流の促進のため、クリケットの大会に併せて、市民が国際クリケット場へ足を運びたいくなるイベントを開催する。
⑦国際クリケット場の整備に関する民間事業者のアイデアを把握するため、サウンディング調査を実施する。
⑧市民がプロスポーツに触れる機会を創出するとともに、子どもたちの競技力向上や、市民の健康増進を図るため、プロスポーツチームとの協働による事業を拡充する。

※重点取組は太字・下線で記載